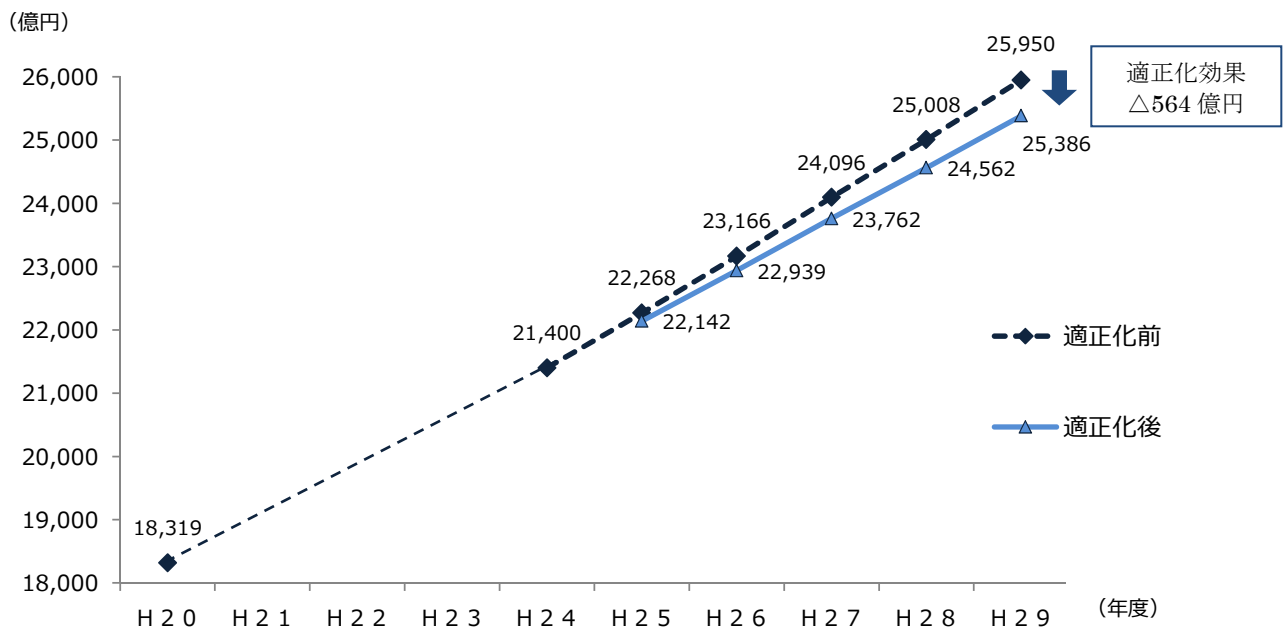


第5章 計画期間における医療に要する費用の見通し

厚生労働省作成の「都道府県医療費の将来推計ツール」により本県の医療費を推計すると、平成24年度は2兆1,400億円程度、平成29年度は2兆5,950億円程度となる見込みです。しかし、本計画における「メタボリック症候群予備群・該当者の減少」及び「平均在院日数の短縮」の目標を達成した場合には、564億円程度の適正化効果が得られると推計されており、平成29年度の医療費の見通しは、2兆5,386億円程度に抑えられると推計されます（図32）。

平成29年度医療費（推計）：適正化前	2兆5,950億円程度
適正化効果	△564億円程度
平成29年度医療費（推計）：適正化後	2兆5,386億円程度

図31 医療に要する費用の見通し



(注) 平成20年度は実績値。それ以外の年度は国の医療費推計ツールによる推計値。